

平成22年度共同研究の概要(成果報告書抜粋)

研究種別: 重点研究

研究代表者: 大槻 恭一 (九州大学 大学院農学研究院・教授)

研究協力者: 北野 雅治 (九州大学農学研究院 教授)、多田内 修(九州大学農学研究院 教授)、鹿島 薫(九州大学理学研究院 准教授)、馬 永清(中国科学院水利部水土保持研究所 教授)、館野 隆之輔(鹿児島大学農学部 准教授)

研究題目(和文):

中国黄土高原寧夏地区における日中韓共同砂漠化防止研究拠点の形成

研究概要(和文):

1. 予備調査

共同研究者は、鳥取大学乾燥地研究センター共同研究費および東アジア環境研究機構砂漠化防止事業費を用い、水土保持研究所、寧夏大学および関連の研究サイトを視察し、将来の共同研究に関して議論した。その結果、今後、陝西省定辺周辺において総合的な砂漠化防止研究を実施することを決めた。

2. 国際シンポジウム

共同研究者である鹿島が鳥取大学乾燥地研究センターの支援で国際シンポジウムを九州大学において開催した。本共同研究は、このシンポジウムと共同で国際シンポジウムを開催し、各共同研究者は各自乾燥地研究活動を報告した。

シンポジウム: 東アジアにおける砂漠化防止に関する国際シンポジウム

課題: 日本および九州大学における砂漠化防止研究

主催: 九州大学東アジア環境研究機構

共催: 鳥取大学乾燥地研究センター等

日時: 2011年2月27日

場所: 九州大学国際ホール

共同研究者の講演課題:

大槻恭一

"Outline of the activities of the combating desertification group of RIEAE"

大槻恭一

"Ecohydrological aspects of exotic plantations in Loess Plateau, China"

北野雅治

"Sustainable Control of Soil Salinity in Irrigated Crop Fields under Desertification"

多田内修

"Wild bee fauna and pollination biology for combating desertification and planting campaigns in Asian arid areas"

鹿島薫

"The long-term monitoring of environmental changes and desertification at Central and East Asia"

安福規之

"Project Research on Application of Medical Plant Licorice at Semi-arid Area in

Mongolia"

山中典和

"Desertification and its Combating Measures in East Asia"

3. ワークショップ

共同研究者・馬永清教授(水土保持研究所)を招聘し、九州大学および鳥取大学で研究集会を開催し、今後の日中共同研究について打合せを行った。

ワークショップ:平成 22 年度 砂漠化防止ワークショップ

課題:『砂漠化防止にバイオ資源植物と漢方の栽培を』

主催:九州大学東アジア環境研究機構

共済:鳥取大学乾燥地研究センター

講演 馬永清教授

(中国科学院 水利部 水土保持研究所, 西北農林科技大学)

日時

2011 年 3 月 4 日(金)13:30-17:00

場所

九州大学農学部 1 号館 6 階大会議室

スケジュール

13:30 スイッチグラスによるオロバンチ種子の発芽誘発

14:30 スイッチグラスのアレロパシー効果と化学特性

15:30 陝西省におけるタマリクスへの肉従蓉の寄生と生産

16:30 総合討論